

「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

達人 名	林 秀明 先生（ 天気予報の達人 ）	所属	名古屋地方気象台
実 施 校	美和町立美和小学校		
実 施 日	平成21年11月6日（金曜日）		
実施学年・学級	5年1組・2組・3組（90人）		
教科等名	理科	単元・題材名	台風と天気の変化
授業の目標	台風による強風や大雨と、それがもたらす災害に興味をもち、台風の進路と天気の変化について理解する。		
授業の実際	1 達人の紹介を聞く。（教師） 2 気象台の仕事を聴く。（達人） ・ 予報の仕組みについて ・ 気象データ収集の方法について ・ 台風について 3 台風による強風や大雨の被害について話し合う。（教師） ・ 強風や大雨について ・ 過去の台風について 4 気象に関する問題について考える。（達人・教師） ・ クイズ形式で出題（災害・台風等） 5 達人に質問する。（達人） ・ 自分たちで予報ができるか。		
児童生徒の感想	・ 難しい言葉をわかりやすく説明してくださったので理解できた。 ・ 低気圧と高気圧の違いがよくわかった。 ・ アメダスなど、はじめて知ったことがたくさんあったので、このような授業をまた受けたい。 ・ 台風って怖いものだということがわかった。 ・ 天気を予報する仕組みがよくわかった。 ・ 雨量の調べ方がわかったので、家でもやってみたいと思った。		
教師の感想	天気予報を発表するまでの仕組みや専門用語を児童向けに説明したのでわかりやすかった。授業で押さえないことをクイズ形式で確認したことが効果的であった。家庭で計測できる方法を知らせたので、児童は身近に感じていた。理科の発展学習としてとても効果的であった。		